

会議概要

1	審議会	令和4年度 第1回 安曇野市総合計画審議会
2	日時	令和4年6月23日(木) 14時00分～15時50分
3	会場	安曇野市役所3階 議会全員協議会室
4	出席者(敬称略)	木村会長、二村副会長、赤羽(高)委員、赤羽(史)委員、上原委員、内田委員、岡江委員、尾臺委員、栗田委員、小岩井委員、高橋(秀)委員、高橋(良)委員、武井委員、筒井委員、長崎委員、花岡委員、樋口委員、安井委員、依田委員、若林委員、綿貫委員
5	説明者等	渡辺政策部長、黒岩政策経営課長、藤澤企画担当係長、米山企画担当主査、柳澤企画担当主査、長野経済研究所
6	庶務担当課出席者	同上
7	公開・非公開の別	公開
8	記者	1人
9	会議概要作成年月日	令和4年6月24日(金)

協 議 事 項 等

1. 開会

2. 会長挨拶

- ・ 総合計画は10年間の計画期間だが、我々は来年度からの5年間の後期計画について審議していく役割になっている。
- ・ 前期計画の5年間でかなり大きな社会状況の変化があった。後期計画は、これらを踏まえて策定する必要がある。
- ・ コロナの問題やウクライナへのロシア侵攻に端を発して様々なことが起こっているが、安曇野市独自の状況や課題を、安曇野市としてこういうことをすれば住民の生活を変えられるといった事が見えやすくなっている。
- ・ 年内に数回精力的に審議を進めて年明けに市長へ答申として渡すスケジュールとなっているので、ご協力をお願いしたい。

3. 審議会委員の委嘱について

【説明】

- ・ 各団体から選出している4名の委員の方に異動があったので、後任として新たに団体から選出した方々に委員を委嘱させていただいた。
- ・ また、新たに市長が選任する者として、子育て、障がい福祉、教育、共生社会の分野にそれぞれ精通している4名の方を委嘱させていただいた。
- ・ 副会長は鷺澤委員にお願いしていたが、区長会の役員改選により、二村委員を選出いただいている。引き続き、区長会から選出されている二村委員に副会長をお願いしたいが、委員の皆様のお考えはいかがか。
(委員の同意により、二村委員が副会長に就任)

4. 会議事項

(1) 基礎調査の結果について (資料1)

【説明】

(資料に沿って説明)

【質疑応答等】

- ・ 統計的に安曇野市と似た特徴を持つ市町村はどこか。
⇒安曇野市の特徴として転入超過、子育て世帯の転入、産業構造が挙げられる。報告書にて指標毎に県内市町村との比較も掲載しているが、そのような視点では調査していない。
- ・ 令和2年の人口が推計値を上回った原因は何か。
⇒社会動態(転出入)が主な要因であると考えている。
- ・ 「目標人口」とは何か。
⇒市の「人口ビジョン」において設定しているもの。具体的には、合計特殊出生率の目標値2.07を令和27年までに達成と毎年子育て世帯40世帯の転入がある場合の人口。
- ・ 安曇野市はシニア世帯の転入の多さが特徴の1つであるが、そこだけをターゲットにしては市の発展は難しい。出生数の増加や若い世代の転入増加も重要な観点ではないか。そこも含めて議論を進めてほしい。
- ・ 令和3年10月まで発生していた待機児童数が令和4年4月に解消された要因は何か。
⇒市としては0～2歳の預り所の受け皿を確保するために、小規模保育事業所の設置促進や保育士の確保などの対策を講じた。
- ・ 人口について、死亡者数の死因について何か変化はあるか。
⇒死因に関連するものとして、死亡者数全体に占める生活習慣病による死亡者数の割合は減少傾向にある。その他の死因による死亡者数は、安曇野市にて発行している「安曇野市の統計」に掲載されており、ご参考いただきたい。
- ・ 障がい者数の推移については、年齢別にみることも重要であると考えている。
⇒年齢別の障がい者数の推移について、調査可能か確認する。

(2) 前期基本計画の進捗評価及び市民意識調査(速報版)の結果について(資料2-1、2)

【前期基本計画の進捗評価について説明】

(資料に沿って説明)

【質疑応答等】

—なし—

【市民意識調査(速報版)について説明】

(資料に沿って説明)

【質疑応答等】

- ・ 公共交通のあり方に関する回答結果について、高齢者を中心にデマンド交通を利用している人の満足度は相当高いと認識しており、年代別の集計等も必要かと考える。
- ・ 定住意向や市への愛着についての設問等では、年代別の回答結果もあるが、調査対象数が十分ではなく、この調査のみでは市民の意向が十分に把握できていないのではないかと。
⇒アンケート調査に加え、市民へのヒアリング調査等も検討している。これについて

ては、この後（資料5）にて審議いただく予定であり、そこでご意見をいただきたい。

- ・ 子育て環境の充実について、「子どもを預けられる施設数の増加」を求める回答が多いが、ここでの「子育て施設」とは具体的には何か。
⇒設問では具体的に定義はしていない。回答者においては、認定こども園、認定外保育施設だけではなく一時的に預けられる施設なども想定しているものと考えている。
- ・ 病児、病後児保育については市ではどのような施策を展開しているのか。
⇒病児病後児保育は安曇野赤十字病院に委託して行っている。またファミリーサポートの中で病児の対応ができるサポーターの方もいるという状況。
- ・ 安曇野市の人口から考えると、アンケートの回収数がもう少し増えるとよい。今後は回収率が上がるような意識調査のやり方をぜひ考えてほしい。

（3）基本施策の体系について（資料3）

【説明】

（資料に沿って説明）

【質疑応答】

- ・ 基本施策と将来都市像との関連について整理する必要があるのではないか。
⇒各基本施策によって、将来都市像が実現されると整理している。将来都市像については、資料4で説明する。
- ・ 基本目標を変更するということが、簡単に説明してほしい。
⇒基本目標を一部変更している。前期基本計画における基本目標「自然環境を大切にすまち」について、暮らしに関する要素を加え、「自然と暮らしやすさが調和するまち」とする。また危機管理の分野について、重要性が高まっていると考えられることから、「安全で安心して暮らせるまち」という基本目標を設定した。
- ・ 基本施策の体系（資料3）について、基本施策「人権の尊重」の位置づけがかわっているように見える。その他、同様の基本施策が複数あるように見える。補足説明をお願いしたい。
⇒人権の尊重は今まで健康・福祉の分野に入っていたが、市政全体に関わる「みんなでもにつくるまち」という基本目標に変更した。出産・子育て支援については、この施策に対する事業が非常に多くあるため、対応する基本施策を2つに分けた。さらに交流活動の推進については、「教育」に関するものに限らないため、「みんなでもにつくるまち」へ変更した。外国人など市政全般に関わる中での交流活動を推進したいという背景もある。
- ・ 「安全で安心して暮らせるまち」に関して、女性に対する暴力をなくすという取組は、女性活躍の観点から「安全で安心して暮らせるまち」に位置づけられるのではないか。
⇒担当課と確認して、検討したい。
- ・ 市の業務は全てこの計画に反映されるのか。
⇒反映される。書き方は今後検討となる。

(4) 価値創出プロジェクトについて (資料4)

【説明】

(資料に沿って説明)

【質疑応答】

- ・ 価値創出プロジェクトは総合計画の各施策と関連性があるということか。
⇒将来ビジョン達成のため、組織横断的に特に注力する施策として整理している。
- ・ 価値創出プロジェクトの達成度は、どのように測るのか。これを構成する各施策の達成度でみるということか。
⇒プロジェクトの詳細は今後も検討を続けていくが、これと並行して進捗管理の方法も検討していきたい。次回以降の審議会にて意見をいただきたい。
- ・ 各論だけでなく上の段階も検討する必要がある。スーパーシティ構想やゼロカーボン、デジタル推進との関連はあるか。
⇒まちづくりの基本的な指針となる基本構想にて、環境・デジタル等の分野に関する方向性についても示したい。基本構想は、次回以降の審議会にてお示ししたい。
- ・ アウトドア・シティの形成について、安曇野市の特徴を活かしたプロジェクトということかと思うが、基礎調査結果やアンケート結果からだけではこれに取り組む背景が明確化しにくいのではないか。市にてこれまで展開してきた事業内容やその結果等を踏まえて、アウトドアシティの形成に取り組む理由を整理した方が良いのではないか。
- ・ 将来ビジョンは、これから決めるということか。
⇒従来の将来ビジョンはあるが、5年間の社会情勢の変化も考慮して、後期基本計画の施策や価値創出プロジェクトに沿った形に変えたい。
- ・ 将来ビジョンは、公募する可能性はあるか。
⇒審議会でのご意見をもとに検討したい。
- ・ この総合計画は、市の活動のうちどの程度カバーしているものなのか。
⇒基本的には100%反映していくものだと考えている。

(5) 市民グループヒアリングの実施手法について (資料5)

【説明】

(資料に沿って説明)

【質疑応答】

- ・ 移住者については、外国籍の人も含まれるのか。
⇒今のところ、外国籍の方は想定していない。
- ・ 安曇野市には1,200人くらい外国籍の方が住んでいる。外国籍の方も考えられないか検討して頂きたい。
⇒外国人の意見は重要だと認識している。市では、外国人向けのアンケートを実施している。また、共生参画づくりの計画も総合計画と並行して作成していく予定であるため、これらを通じて意見を反映させていきたい。
- ・ 他の課と連携していく事が大切だと思うので、ぜひお願いしたい。意見を吸い上げる機会になればいい。
- ・ 何らかの形で外国人の意見を聞くのは可能だと思う。やり方を考えてほしい。
- ・ ヒアリング実施にあたり、市民活動サポートセンターの活用も検討していただきたい。

- ・ 市内事業者は、実際に市や関係機関と連携して主体的に活動を展開するという点において、移住者や高校生、子育て世帯とは性質が異なるため、分けて考えたほうがいいのか。

⇒市内事業者に対するヒアリングの具体的な内容等は、次回の審議会で提示する。

5 その他

- ・ 次回審議会は8月4日（木）に開催する予定。改めて事前に通知する。

6. 閉会

(以上)